

トピックス

IE3規格対応ポンプを順次発売

トップランナー制度の施行により、産業用の三相誘導電動機（モータ）はプレミアム効率（IE3規格）に対応することが求められます。



当社ポンプにおいても、IE3規格に対応した製品を順次発売し対応しています。

独自開発のモータは、従来の標準効率モータ（IE1規格）と比べ、筐体の大きさを同寸法としながらプレミアム効率を達成したことで、ポンプの取付位置を変更することなく、従来から使用されているお客様からも好評を得ています。

会社概況

（平成27年3月31日現在）

商号	三相電機株式会社
設立	昭和32年10月11日
資本金	8億7,160万円
従業員数	552名（連結）
事業内容	小型モータおよび小型電動ポンプの製造・販売、金型の製造・販売

株式の状況

（平成27年3月31日現在）

会社が発行する株式の総数	36,000,000株
発行済株式の総数	9,143,200株
株主数	514名
1単元の株式の数	1,000株

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先） (0120)782-031
（URL） <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。
<http://www.sanso-elec.co.jp/japanese/koukoku>
上場証券取引所 株式会社東京証券取引所

三相電機株式会社
〒671-2288 兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号
TEL(079)266-1200 FAX(079)266-1206
URL <http://www.sanso-elec.co.jp/>

株主のみなさまへ

第58期 株主通信

平成26年4月1日～平成27年3月31日



代表取締役社長 黒田直樹

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2014年度（2014年4月1日から2015年3月31日まで）の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わりにないご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成27年6月

 三相電機株式会社

証券コード 6518

営業の概況

業績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、政府による経済再生と財政再建に向けた取り組みや、日銀の金融緩和策を背景に、円安・株高が進み、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、個人消費は消費税増税後の落ち込みから抜け出しつつありますが、物価上昇に伴う実質所得の減少を背景に回復の動きはもたつき、円安による輸入コストの上昇および新興国の景気減速などの要因もあり、企業収益は改善が見られるものの、本格的な景気回復までには至りませんでした。

当社グループにおいては、企業収益の改善により設備投資は底堅く推移し、半導体製造装置用ポンプや工作機械装置用モータ等の受注が増加いたしました。しかしながら利益面においては、円安による輸入材料の高騰が、コストを押し上げる要因となり、引き続き厳しい経営環境が続くこととなりました。

このような事業環境の中、お客様の要望にきめ細かく対応することで、顧客満足度の向上を図るとともに、新規受注に向けた営業活動を推進してまいりました。具体的には、インダクションモータの高効率規制に対応した高効率モータの量産化に取り組み、受注拡大に努めてまいりました。また、円安による輸入コストの上昇分を販売価格に転嫁すべく、価格交渉を行うとともに、生産性の改善や幅広い原価低減を進め業績向上に注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は134億43百万円（前期比109.5%）、営業利益は4億67百万円（同463.2%）、経常利益は5億44百万円（同307.3%）となりました。また、当期純利益は4億11百万円（同401.6%）となりました。

今後の取り組み

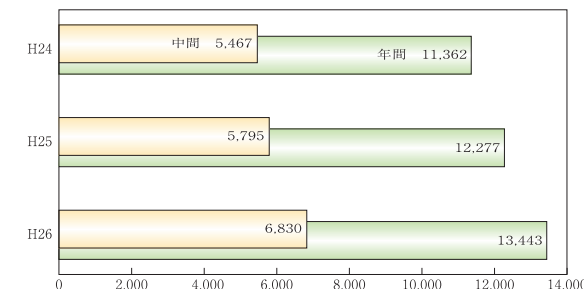
今後の業績見通しといたしまして、雇用や所得の環境改善が持続し、原油安や株高に伴うプラス効果の影響や各種政策の推進もあり、景気は堅調に推移することが期待されますが、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとして残り、依然として楽観視できない状況が続くものと考えられます。

当社グループにおいては、インダクションモータの高効率規制をチャンスと捉え、他社製品との比較優位性を強みとした営業活動や、市場が求める省エネルギー商品の提案で企業競争力の強化を図ってまいります。また部品加工の内製化や効率化を進め業績向上に努めてまいります。

連結業績の概要

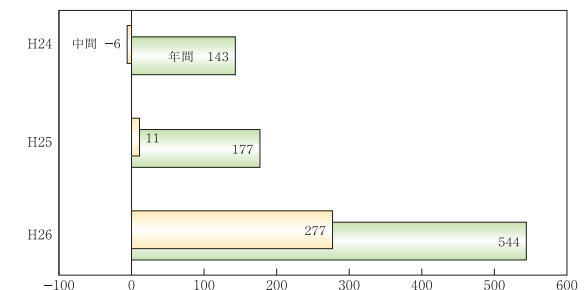
売上高

(単位：百万円)



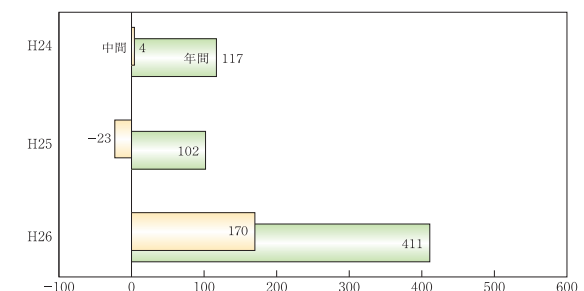
経常利益

(単位：百万円)



当期純利益

(単位：百万円)



要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目		(平成27年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		8,805
固定資産		4,180
有形固定資産		3,275
無形固定資産		84
投資その他の資産		820
資産合計		12,986
負債の部		
流動負債		4,160
固定負債		2,271
負債合計		6,431
純資産の部		
株主資本		6,084
資本剰余金		871
利益剰余金		1,825
自己株式		3,427
△40		△40
その他の包括利益累計額		470
純資産合計		6,555
負債純資産合計		12,986

要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科目		(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
売上高		13,443
売上原価		11,287
売上総利益		2,156
販売費及び一般管理費		1,688
営業利益		467
営業外収益		95
営業外費用		19
経常利益		544
特別利益		0
特別損失		14
税金等調整前当期純利益		529
法人税、住民税及び事業税		128
法人税等調整額		△10
当期純利益		411